



1 生育状況

1 1 月中下旬に播種された小麦は 2~3 葉期、1 1 月下旬に播種された大麦は 1~2 葉期となっている。1 2 月以降に播種された圃場では、出芽にムラがみられ、出芽期~1 葉期となっている。乾燥や低温の影響から出芽が遅れ、全体的な生育は遅れている。

2 今後の管理ポイント

1) 追肥

1 1 月中下旬頃までに播種された圃場では、追肥の施用時期（3 葉期頃、1 月中旬頃）になったら時期を逸さないよう、地域の曆に応じて、基準量を施用する。1 2 月播種は出芽が遅れているため、追肥の時期は例年より遅れる見込みである。

2) 麦踏み

生育量の少ない初期分けつ期の麦踏みは、生育抑制する可能性があるため、必ず 3 葉期以降かつ土壌が乾燥した状態で行う。今年は平年よりも気温が低く、生育を抑制しすぎる可能性があるため、過剰な麦踏みは避ける。

3) 土入れ

本葉 5~6 葉期ごろに、雑草防除と排水対策もかねて、圃場の条件をみながら計画的に土入れを実施する。なお、分けつ初期に土入れする土の量が多いと、分けつを抑制することがあるため、土の量は、生育初期は少なめに、生育が進むにつれて量を増していくことが基本。

4) 排水対策

根腐れや湿害防止のために、溝をまくら部分まで通すなどして、排水溝の整備を入念に行う。特に、溝と排水溝が繋がっていない場合があるため確認し、整備する。

4) 雑草対策

ボクサーやリベレーターは麦の 2~3 葉期まで使用が可能であるが、雑草の生育が進んでいる場合は効果が劣

薬剤名	麦 生育ステージ	雑草
ハーモニー75DF 水和剤	麦 1 葉期 ~ 節間伸長前	スズメノテッポウ 5 葉期まで

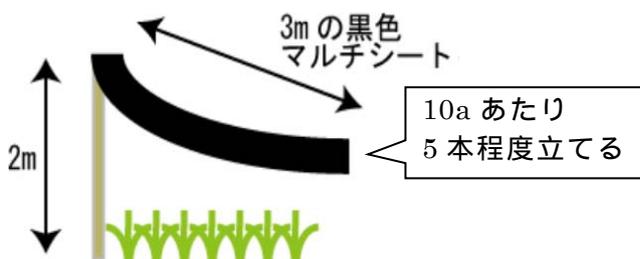
るため、その後発生した雑草は生育期処理剤（ハーモニー剤等）で早めに対処する。なお、除草剤散布直後に麦踏みを実施すると薬害を助長するので、散布後 1 週間の麦踏みは避ける。土入れについても散布後 1 週間ほど間隔を空けることにより、薬剤の根部吸収が高まり、除草効果が高まる。

5) カモ対策

近年、圃場によってはカモによる若葉の食害が見られている。(特にクリーク沿いにある圃場) 食害に遭いやすい圃場では、のぼりを立てる等の対策を実施する。

【のぼりの設置について】

支柱に黒色マルチを吊したものを設置する。カモは水路から侵入することが多いため、圃場の水路寄りの部分を中心に設置すると効果的である。



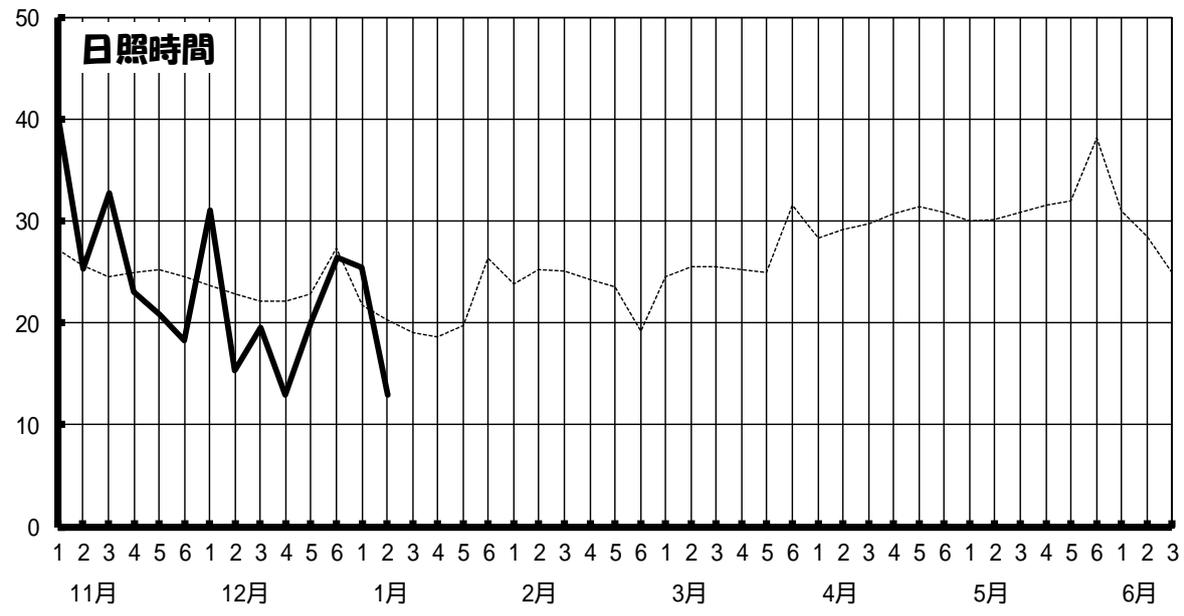
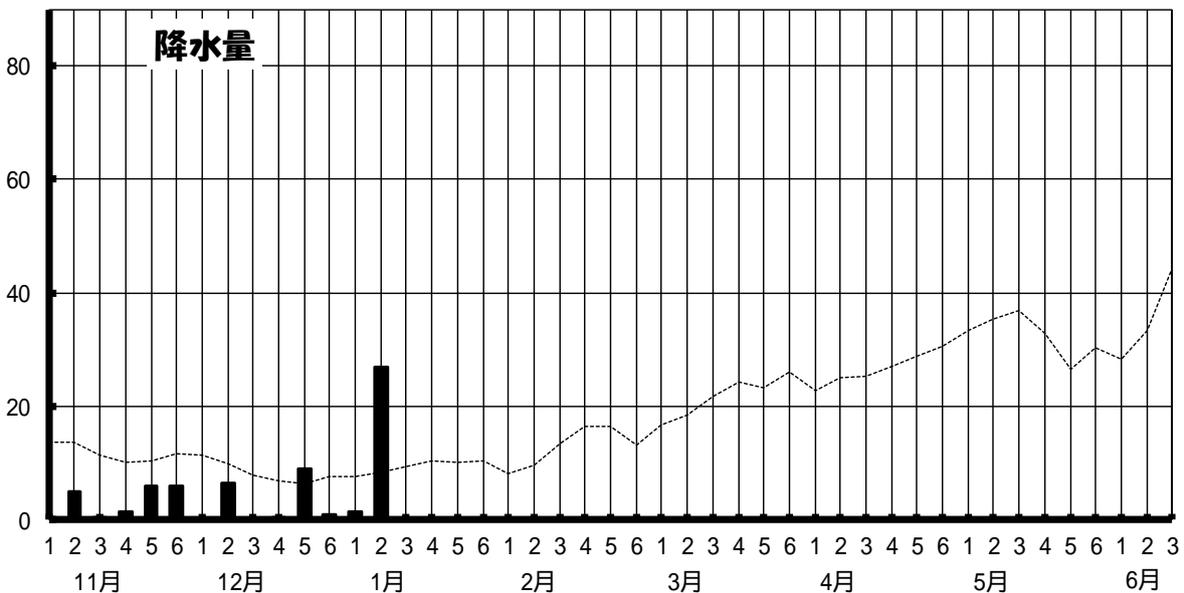
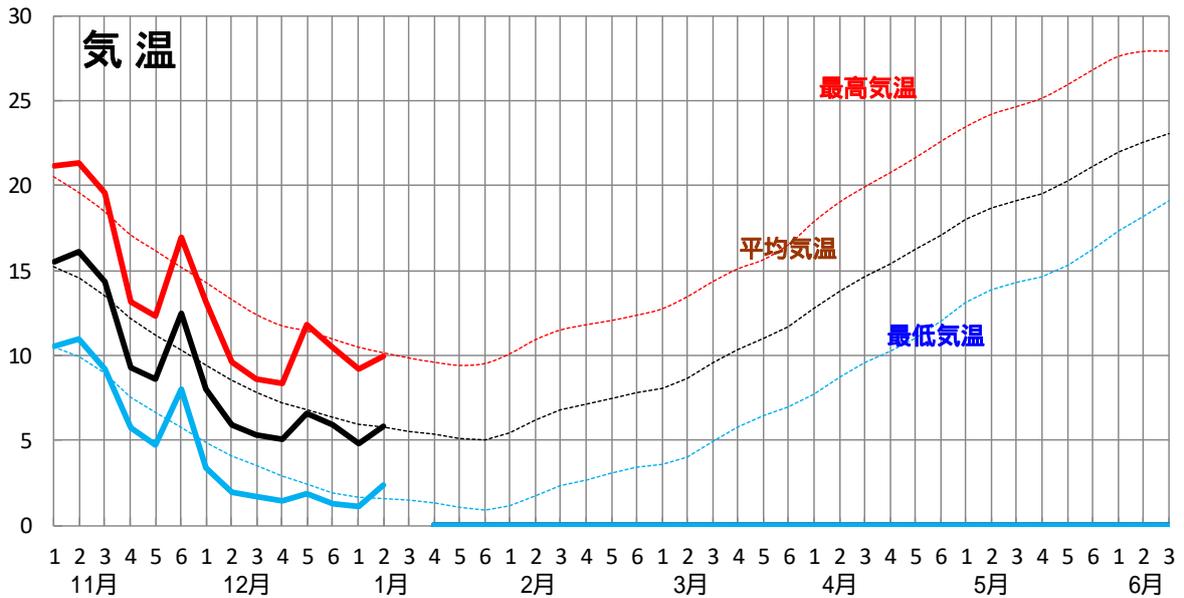
「野生鳥獣被害防止マニュアル
- 鳥類編 -」農水省 等より作成

カモによる食害
バリカンで剪定したように見える

30年産麦類生育期間気象グラフ

アメダス観測値（佐賀）

佐城農業改良普及センター



グラフ中の点線は平年値